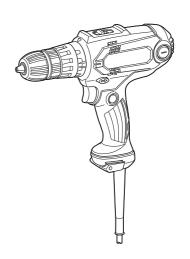


取扱説明書

震動ドライバドリル 回 モテル MHP001





一舌絲絲

このマークを表示した製品は二重 絶縁構造ですのでアース (接地) する必要はありません。

マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または 準じて(電気用品安全法適用外の 製品)製造されております。 このたびは**震動ドライバドリル**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をして

いただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。 なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次

•	主要機能	3
	安全上のご注意	
•	震動ドライバドリル安全上のご注意	9
•	各部の名称および標準付属品	- 11
	別販売品のご紹介	- 12
	使い方	
	・ビットやキリの取り付け・取りはずし方	
	・スイッチの操作	- 15
	・正逆転切り替えレバーの操作	
	·切り替え方法	
	・ネジ締め	
	・ドリル	
	・震動ドリル	
	・フック(別販売品)の取り付け・取りはずし方	
•	保守・点検について	
	・カーボンブラシの交換	
	・本製品のお手入れ	
	・修理の際は	- 22

主要機能

モデル 主要機能		MHP001			
	電動機	直巻整流子電動機			
	電圧		単相交流	₹100	V
	回転数	高速	0 ~ 1,500 min ⁻¹ (回転 / 分)	低速	0 ~ 450 min ⁻¹ (回転 / 分)
	打撃数	同选	0 ~ 22,500 min ⁻¹ (回 / 分)		0 ~ 6,750 min ⁻¹ (回 / 分)
ネジ締め能力		木ネジ:呼び径 5.1 mm × 63 mm 小ネジ:M6			
穴あけ能力		鉄工:内径 10 mm 木工:内径 28 mm 石工:内径 8 mm			
ドリルチャック能力		1.0 ~ 10 mm			
本製品寸法		長さ 235 mm × 幅 67 mm ×高さ 206 mm			
質量		1.2 kg			
振動3軸 震動ドリルモード		12.5 m/s ²			
合成値	ドリルモード	$< 2.5 \text{ m/s}^2$			

- 振動3軸合成値は、EN62841-2-1規格に基づき測定。
- 振動3 軸合成値についての詳細は JEMA [(社) 日本電機工業会] ウェブサイト: (http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html)をご参照ください。
- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご 了承ください。

注意文の \land 警告 · 🛕 注意 · 注 の意味について

で使用上の注意事項は<u>▲警告と</u><u>▲注意</u>・<u>注</u>に区分していますが、 それぞれ次の意味を表します。

⚠ 警告

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷 を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠ 注意

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注

:製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

▲ 警告

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、 正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」 を必ず守ってください。
- ・「電動工具」は、電源式(コード付き)電動工具を示します。

作業環境

- 1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
- ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
- 2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
- 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
- 3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
- ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
- 作業者以外、電動工具や電源コードに触れさせないでください。

電気に関する安全事項

- 1. 電源コンセントは電動工具の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース(接地)付きプラグは確実にアース(接地)をしてください。
- 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
- 2. アース(接地)付きプラグやアース線がある場合、アース線をガス管に接続しないでください。
 - 発火や爆発の原因になります。
- 3. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
- 表示を超える電圧で使用すると、モータの回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
- 4. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース(接地)されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - 感電する恐れがあります。
- 5. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
- 電動工具内部に水が入り、感電する恐れがあります。
- 6. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
- 電源コードを持って電動工具を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
- 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
- 7. 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
- 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延 長コードを使用してください。

▲ 警告

作業者に関する安全事項

- 1. 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、電動工具とその操作を理解した方以外は使用させないでください。
- 理解せずに使用することは危険です。
- 2. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意 して慎重に作業してください。
- 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、 電動工具を使用しないでください。
- 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは電動工具を使用しないでください。
- 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
- 3. 安全保護具を使用してください。
- 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では 防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
- 4. 不意な始動は避けてください。
- 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- 電源コードをつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
- 5. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
- 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れが あります。
- 本機に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
- 6. 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
- 7. きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- 8. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
- 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続する ことで粉じんの人体への影響を軽減できます。

電動工具の使用

- 1. 電動工具は能力に合った作業に使用してください。
- 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
- 2. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
- 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本機の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。

▲ 警告

- 3. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
- 4. スイッチに異常がないか点検してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。使用せず修理 をお申し付けください。
- 5. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。
- 6. 電動工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、電源 プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 本機の調整
- 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
- 保管、または修理
- 電動工具から離れるとき
- ・ その他危険が予想される作業

電動工具の手入れ

- 1. 使用しない電動工具は、きちんと保管してください。
- 子供の手の届かない安全な所、乾燥した場所で鍵のかかる所に保管してください。
- 2. 電動工具の保守点検をしてください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他 運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないよう にしてください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- 電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 3. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
- 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。

整備

- 1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
- 本機を分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
- 本機が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
- 本機は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、 事故やけがの恐れがあります。

△ 警告

その他の安全事項

- 1. 損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

<異常・故障例>

- ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードに深いキズや変形がある。
- ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- 焦げくさい臭いがする。
- ビリビリと電気を感じる。
- ・ スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
- 2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
- この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外の ものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
- 3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
- 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。(材料を動かして加工する製品を除く。)
- 4. 電源プラグにぬれた手で触れないでください。
- 感電の恐れがあります。
- 5. 使用できる延長コードの太さ(導体公称断面積)と最大長さの目安
- ・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本機を最高の能率で支障なく ご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。
- 延長コードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

コードの太さ	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安			
(導体公称断面積)	~ 5 A	5 ~ 10 A	10 ~ 15 A	
2.0 mm ²	50 m	30 m	20 m	

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に 必ず保管してください。
- ・ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、 ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

震動ドライバドリル安全上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、震動ドライバドリルとして、さらに次の注意事項を守ってください。

JPB289-1

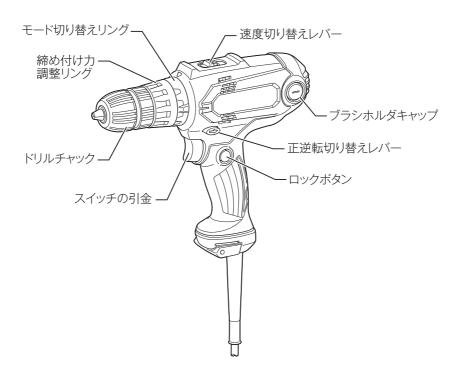
▲ 警告

- 1. 耳栓、耳覆い (イヤマフ) などの防音用保護具を着用してください。
- 騒音の大きい作業では、防音用保護具を着用してください。
- 騒音にさらされ難聴の原因になります。
- 2. 使用中は、振り回されないよう本機を確実に保持してください。
- 確実に保持していないと、けがの原因になります。
- 補助ハンドル(サイドグリップ、グリップなど)は指定されたものをご使用ください。
- 3. 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、 作業前に十分確かめてください。
- 埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因 になります。
- 4. 使用中は、ビットなどの工具類や回転部、切りクズなどの排出物に手や顔などを近づけないでください。
- けがの原因になります。
- 5. 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
- そのまま使用していると、けがの原因になります。
- 6. 誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類や本機などに破損や亀裂、 変形がないことをよく点検してください。
- ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- 7. 石綿は人体に有害です。このような成分を含んだ材料を加工するときは、防じん対策をしてください。

△ 注意

- 1. 工具類(ビットなど)や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
- 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- 2. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
- 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- 3. 作業直後のビットや切りクズは大変熱くなっていますので、触れないでください。
- やけどの原因になります。
- 4. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
- 材料や本機などを落としたときなど、事故の原因になります。
- 5. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
- けがの原因になります。
- 6. 細径ドリルは折れやすいので注意してください。
- 飛散して、けがの恐れがあります。

各部の名称および標準付属品



標準付属品

・ ⊕ビット2-65

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い 上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。
- ・ ⊕ビット (マグネット付)

名称	先端形状	長さ (mm)	梱包数	部品番号
	⊕ No.O(片側)	85	3	A-52875
	⊕ No.1	65	3	A-52881
	⊕ NO.1	110	3	A-52897
			3	A-50924
		65	6	A-50930
スリムタフビット			10	A-50946
	⊕ No.2		3	A-50952
	Ŭ NO.∠	85	6	A-50968
			10	A-50974
		110	3	A-50980
		110	6	A-50996
	⊕ N o O	65	3	A-50625
	⊕ No.2 • No.3	85	3	A-50712
	■ NO. 5	110	3	A-50631
			3	A-49563
		65	6	A-49579
			10	A-49806
			3	A-49585
	⊕ No.2	85	6	A-49591
トーションタフビット			10	A-49828
		110	3	A-49600
			6	A-49616
		150	3	A-50120
	⊕ No.3	65	3	A-52906
	₩ NO.3	110	3	A-52912
		65	3	A-55946
	No.3	85	3	A-55952
		110	3	A-56172

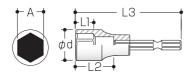
※⊕ No.0 ビットはネジ締めモードでご使用ください。

別販売品のご紹介

・ ⊕ビット

名称	長さ (mm)	梱包数	部品番号
	45 (ハードタイプ)	10	A-10540
No.2	82	10	A-10562
	150	10	A-06579
No.3	65	1	A-44161
110.5	110	1	A-44177

・タフソケットビット



サイズ (mm)						部品番号
適用ボルト	Α	Фd	L 1	L 2	L 3	即四番万
МЗ	5.5	9	3.5	20	60	A-51851
M4	7	13.5	6.5	22	61	A-51867
M5	8	13.5	6.5	22	61	A-51873
M6	10	16	6.5	22	61	A-51895

別販売品のご紹介

・ 超硬ドリル

径 (mm)	長さ (mm)	最大穿孔能力(mm)	部品番号
3.0	85	45	A-42260
3.2	85	45	A-42276
3.4	85	45	A-42282
3.5	85	45	A-42298
3.8	85	45	A-42307
4.0	85	45	A-42313
4.3	85	45	A-42329
4.5	85	45	A-42335
4.8	85	45	A-42341
5.0	85	45	A-42357
5.3	100	55	A-42363
5.4	100	55	A-42379
5.5	100	55	A-42385
6.0	100	55	A-42391
6.4	100	55	A-42400
6.5	100	55	A-42416
7.0	125	70	A-42422
7.5	90	60	791028-6
7.5	125	70	A-42438
8.0	125	70	A-42444

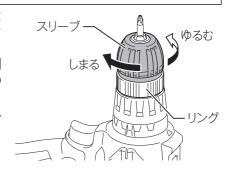
- ・ 充電用超硬ドリル3本セット 錐径3.4mm、3.5mm、4.3mm(各1本3本組) 部品番号 A-46919
- ・ フックセット品 部品番号 194759-0

ビットやキリの取り付け・取りはずし方

▲ 警告

ビットや付属品の取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源につないだまま行うと、事故の原因になります。
- ・リングを握りスリーブを左へ回すと ドリルチャックの先端のツメが開き ます。ビットやキリを差し込み、リ ングをしっかりと握りスリーブを図 の矢印方向(右)に回して強く締め 付けてください。
- 取りはずす場合は、リングを握りス リーブを左へ回してゆるめ、ビット やキリを抜き取ってください。



注

・ ドリルチャックのツメを最大に開いた状態から更に開くと、スリーブを 締める時に「カチカチ」と音がします。これは構造上発生するもので故 障ではありません。スリーブを左方向に少し戻してから締め直すと「カ チカチ」という音がなくなります。

スイッチの操作

▲ 警告

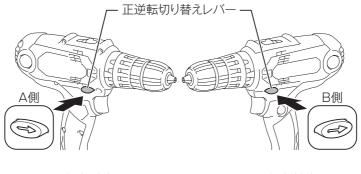
電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に動きだし事故の原因になり ます。
- スイッチはスイッチの引金を引くと 入り、放すと切れます。
- スイッチの引金の引き加減により、 お望みの回転数が得られます。
- ・スイッチの引金を引いてからロック ボタンを押し込むと、引金を放して も引金が固定され連続運転します。 停止させるには、もう一度引金を引 いてロックボタンが戻ってから引金 を放してください。



正逆転切り替えレバーの操作

・ 正逆転切り替えレバーのA 側を押すと右回転(正転)し、B 側を押すと 左回転(逆転)します。



右回転(正転)

左回転(逆転)

注

- ・ ご使用前には必ず回転方向を確認してください。
- ・ 正転・逆転の切り替えは、モータの回転が停止した状態で行ってください。 回転中に切り替えますと故障の原因になります。

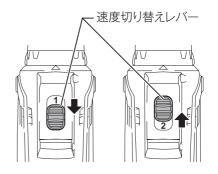
切り替え方法

1. 回転速度の切り替え

「速度切り替えレバー」をスライド すると回転速度が切り替わります。

『1』の数字が見える状態にすると低 速になります。

『2』の数字が見える状態にすると高速になります。



速度切り替え レバーの位置	回転速度	締め付け力	適正作業
1	遅い	強い	負荷の高い作業
2	速い	弱い	負荷の低い作業

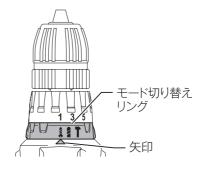
注

- ・ 速度切り替えレバーは正しい位置にセットしてください。 1 側と 2 側の間の位置で使用すると故障の原因となります。
- ・ 速度の切り替えは、モータの回転が停止した状態で行ってください。回 転中に切り替えますと故障の原因になります。
- ・ ご使用前に「速度切り替えレバー」が1側か2側のどちらかの位置にしっかりとセットされていることを確認してください。

2. モードの切り替え

「モード切り替えリング」を回して 各モードのマークを矢印に合わせま す。

作業に応じて3種類のモードが選択できます。



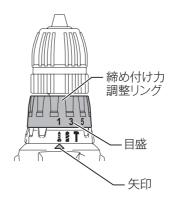
モード	モード 主な作業			
▮ ネジ締め	木ネジや小ネジの締め付けをします。			
≦ ドリル 金属や木材に穴をあけます。				
▮ 震動ドリル	コンクリートやタイルなどの石材に穴をあけます。			

注

- モード切り替えリングの切り替えは停止のときに行ってください。ただし、切り替えが入りにくい場合はスイッチの引金をわずかに引き、少し回転させてから切り替えてください。
- ・ モード切り替えリングは確実に切り替えてください。途中の位置で使用 されますと切り替え機構の故障の原因になります。
- ・ 使用前にモード切り替えリングが正しい位置にあることを確認し、作業 にあったモードと回転数で使用してください。

3. 締め付け力の調整

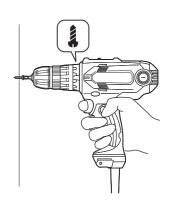
「締め付け力調整リング」を回転させることで 20 段階の切り替えができます。締め付け力は目盛 $1 \rightarrow 3 \rightarrow 5$ …20 の順に強くなります。



ネジ締め

注

- ・ 締め付けるネジに対して本製品をまっすぐに保持してください。本製品 が斜めになると、ネジの頭部を傷めることがあります。
- ・ スイッチの引金の引き加減や締め付け力の調整は事前にお試しください。
 - 1)「モード切り替えリング」を回して「**3**]を矢印に合わせます。
 - 2) ネジの頭の溝にビットを合わせてスイッチの引金を少しずつ引きながら、ビットがネジの頭からはずれない程度の力で押しつけます。
 - 3) クラッチが作動したらスイッチ の引金を戻します。



[ワンポイント]

・ 木ネジを締め付ける場合は、木ネジの径よりも細いキリで下穴をあけておくと、材料のワレを防ぎ作業性が向上します。

ドリル

⚠ 警告

穴の抜けぎわは、キリが折れたり、本製品に大きな力がかかり振り回される恐れがあります。穴の抜けぎわを確認しながら慎重に作業してください。

けがの原因になります。

キリを逆転させて抜くときは本製品が振り回される恐れがありますので本 製品をしっかり保持してからスイッチを入れてください。

・確実に保持していないと、けがの原因となります。

注

- ・ スイッチの引金の引き加減は事前にお試しください。
 - 1) 「モード切り替えリング」を回して「 2] を矢印に合わせます。
 - 2) ドリル (キリ) の先端を穴のあけたい位置に合わせてスイッチの引金を引きます。
 - 3) 穴があいたらスイッチの引金を戻し、ドリル(キリ)を引き抜きます。 ※ドリルの作業時には締め付け力の調整は必要ありません。

[ワンポイント]

・ 金属板に穴をあける場合は、穴あけ位置にセンタポンチでクボミをつく ることによりキリの先端がすべらず、正確な位置に穴あけができます。

震動ドリル

注

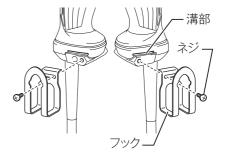
- ・ スイッチの引金の引き加減は事前にお試しください。
- ・ 本製品を無理に押しつけて回転数を大幅に低下させることは避けてください。作業効率が低下します。
 - 1)「モード切り替えリング」を回して[↑]を矢印に合わせます。
 - 2) ドリルの先端を穴のあけたい位置に合わせてスイッチの引金を引きます。
 - ※震動ドリルの作業時には締め付け力の調整は必要ありません。

[ワンポイント]

- ・ 穴の位置決めは低速回転で作業することで正確になります。
- ・深い穴で粉じんがつまる場合は、ドリルを回転させながら2~3回穴より出し入れして粉じんを排出してください。

フック(別販売品)の取り付け・取りはずし方

- ・取り付けるときは、本製品の溝部に フックを差し込んだ後、ネジで固定 します。左右どちら側にも取り付け 可能です。
- 取りはずすときは、ネジをゆるめて からフックをはずします。



保守・点検について

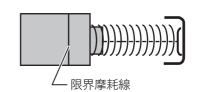
▲ 警告

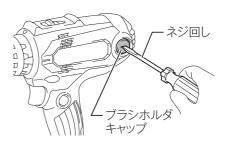
点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行うと、感電や事故の原因になり ます。

カーボンブラシの交換

- ・カーボンブラシは定期的に取りはずして点検してください。カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。
- ネジ回しでブラシホルダキャップを 取りはずしてください。
- ・中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。カーボンブラシは2個で1組になっております。取り替える場合は、必ず両側とも同時に行ってください。





注

・ 新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。

本製品のお手入れ

・乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

注

- 水洗いは絶対にしないでください。
 - ・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

修理の際は

・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営 業所にお申し付けください。

チス